

No. 1028

皇室のごころ

秋のけはいのたつこのころ、皇居のお堀端にはひがん花が咲きみだれています。
皇居の庭にもうけられた稲田では、こうべをたれた稲穂を前に天皇陛下で稲刈りをされました。
9月21日には、はるばるイギリスからおいでになったケント公御夫妻と昼食会。秋を迎えてお忙しい毎日を送られている皇室のこの頃です。

防衛二法成立

46年以来、流産を続けてきた「防衛二法」は9月23日、午後6時30分、自民党だけの賛成で可決、3年ぶりに日の目を見た。

先の長沼判決が「自衛隊は憲法違反」と断定したあとだけに、与・野党の激しいやりとりが続いたが、審議未了にするわけにはいかないとする河野議長の議長権限で本会議を開き、舞台は内閣委員会から、衆参・本会議場に移った。

これに先だち野党は山中防衛庁長官の問責決議案を提出、大出俊氏（社会）は、9月7日の長沼裁判は自衛隊の違憲判決を下した。

それなのに長官は防衛二法を通し、四次防を変更しようとしめない。このような長官は信用できないと賛成の演説を行った。これに対し、三塚十馬氏（自民）は防衛については内閣総理大臣が最高の責任者であるにもかかわらず、山中長官の問責をするのはおかしいと反論。

続いて提出された内閣不信任案決議案について、社会党成田委員長は、列島改造にもとづく、数々の「罪状」をあげ、田中内閣を批判した。

自民党、倉石政調会長は、田中内閣が成立以来あげた成果を列举し、今回の内閣不信任案提出は防衛二法の成立を阻止しようとするものであり、提出に強く反対すると発言した。

こうした国会内のあわただしい動きの中で、23日、参議院本会議が午前10時から開かれ、結局、数にまさる自民党が力で押し切った。